

## 第7講 デジタルコンテンツの制作と活用

堀田博史（園田学園女子大学・教授）

### 【学習到達目標】

- ① デジタルコンテンツとは何かを説明できる。
- ② デジタルコンテンツの種類や特徴を表にして説明できる。
- ③ デジタルコンテンツが特に教育分野でどのように活用されているか具体例を挙げて説明できる。
- ④ デジタルコンテンツの作り手としての手順を説明できる。

### 1. デジタルコンテンツとは？

あなたがイメージするデジタルコンテンツの定義を書いてください。

直訳すると、デジタル（対：アナログ）で提供される内容のようになります。

- ① デジタルの特長として、質をほぼ保って複製が簡単にできます。
- ② デジタルコンテンツは、インターネット経由、または Web サイトで提供されることが多く、スマホでの閲覧が容易です。
- ③ デジタルコンテンツは、テキスト（文字）や写真、動画、音、などを組み合わせで構成されています。電子書籍などもその一例です。

**課題 1** ここで問題です。2～3分考えて、以下に記述ください。

「デジタルコンテンツとして教育や生活で利用するものに何があるでしょうか？」

デジタルコンテンツの一例として、以下のようなものがあげられます。1つのデジタルコンテンツが複数集まり、まとまっているものです。ぜひ、リンクを閲覧して、デジタルコンテンツに触れて見てください。

① Prime video キッズ

<https://www.amazon.co.jp/gp/video/kids> (参照日：2024/10/25)

② NHK for School

<https://www.nhk.or.jp/school/keyword/?grade=g0&cat=all&from=1>

(参照日：2024/10/25)

③ 独立行政法人教職員支援機構・動画教材リンク集

<https://www.nits.go.jp/materials/link.html> (参照日：2024/10/25)

**課題2** デジタルコンテンツの特長を考えます。5分考えて、以下に記述ください。

「デジタルコンテンツの異なる種類の具体例を5つ表にまとめます」

内容	特長 1	特長 2
(例) YouTube	視聴だけではなく投稿できる	音楽や番組などジャンルが豊富

デジタルコンテンツには、様々な特長があります。日頃、特長を比べることがなくても、上記のような表にまとめると共通の特長があり、デジタルコンテンツには、ユーザーに好まれる特長が多く採用していることが分かります。



Prime video  
キッズ



NHK for School



独立行政法人教  
職員支援機構・  
動画教材リンク

## 2. デジタルコンテンツの使い手として求めること

**課題3** 次に、YouTube（デジタルコンテンツ）を例に、より快適に閲覧するために求めることとして、動画再生で遅延がないことをあげました。ここでは、あなたが考えるデジタルコンテンツに使い手として求めることを3つ、5分で考えて、以下に記述ください。

「あなたがデジタルコンテンツを使用する時に求めること、上位3つをまとめます」

デジタルコンテンツ	求めること	
(例) YouTube	動画再生で遅延がないこと	

デジタルコンテンツとしてデジタルドリルを一例にします。求めることとして、操作が簡単で、フィードバックが速いことをあげました。他にも、以下のよう求めることがあげられます。

- ・クイズやポイント獲得の双方向のゲーム的要素がある
- ・使い手に語り掛けるキャラクター（やアバター）が存在する
- ・進度の確認、課題をクリアする達成感を得られる仕組みがある
- ・個人で孤独に向き合うのではなく、使い手同士の軌跡を見ることができ

以下のデジタルドリルの Web サイトにアクセスして、上記の求めることを確認してみよう。

<https://tabdri.jp/service/>



デジタルドリル

#### 4. デジタルコンテンツを制作する時の手順

**課題4** デジタルコンテンツの作り手として、どのような順序でコンテンツを制作するか、5分で以下にその手順を書いてください。

「あなたがデジタルコンテンツを制作するときの手順について考えてください。一つの例として、Power Pointで授業用の説明スライドを作成する時に、どのような手順で、スライドを作成していきますか？」

- ①
- ②
- ③
- ④

以下に、手順の一例を示します。

- ①まず、デジタルコンテンツの使い手の対象は誰なのか、そのスキルや理解度はどの程度なのかを考えます
- ②次に、日頃から、授業内外で、どのようなデジタルコンテンツに慣れ親しんでいるのか調べます
- ③そして、下書きシートのようなものに、文字や写真、動画などを配置、双方向のやり取りができるイメージをつくります
- ④利用者に使用履歴、進捗状況などフィードバックができ、利用者からのデジタルコンテンツの評価を集め、改善に活かす

## <演習> PowerPointでオンライン教材（デジタルコンテンツ）を制作する

実際に、PowerPointで作成しているスライドをビデオ教材にしてみます。

- ① PowerPointのファイルを用意します
- ② 図のように[ファイル]-[エクスポート]-[ビデオの作成]の順で作業を進めます



- ③ スライドに音声で説明を付けていきます
- ④ 最後のスライドまで音声を付けることができれば、ビデオとして保存します

操作手順は、YahooやGoogleで「PowerPointのプレゼンテーションをビデオとして保存する」で検索すれば、いくつか表示されます。ぜひ、一度試してみてください。